

5月19日海南市集会・2025年国民平和大行進

日本政府は禁止条約の署名・批准を!!



海南市中央公民館前平和行



5月19日。海南市の平和行進です。集会前に、海南海草原水協の吉本さん、中谷さんと県事務局の里崎、有本で市長室と議会事務局を表敬訪問。5時30分、海南市中央公民館前で平和行進海南市出発集会が始まります。教職員組合海草支部支部長ルーク・ザレブスキーさんが進行します。最初、県実行委員会和高教の有本和生さんの開会挨拶です。「今、世界は戦争と殺りくに溢れかえっています。ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザでの大殺戮、インドとパキスタン紛争など、人の命を奪う戦争が繰り返されています。そんな中、この日本は戦争の惨禍を免れているように思えます。しかし、かつて日本は太平洋でアメリカと戦争して甚大な被害を被りました。」と報告します。次いで、神出政巳海南海市長メッセージを海渡聡総務課長が代読します。市職員も方も複数参加しています。溝口恵敬海南海市議員が連帯の挨拶をします。「中国脅威論がよく言われます。しかし、日中が国交回復した時、尖閣諸島の領有権については棚上げをすると中国と合意をしたんです。それを2012年9月11日、日本の国土と勝手に宣言したんです。そんな事したら中国が怒らない訳ないじゃないですか。つまり日本の方が、中国を煽っているんですよ。」と話します。続いて、わかやま市民生協の白水幹人さんが決意表明です。「市民平和行進に参加した者として、私たち若者が小学生や中学生にどんどん平和を教えていく、つないでいくということが大切だと思っています。」と東京～広島間の市民平和行進リレー行進者としての自分の思いを語りました。最後、海教組廣井佐江子さんが「海南市集会アピール」を読み上げ、参加者の拍手で採択されます。海南海市平和行進集会には、42人参加しています。平和行進でハンドマイクを握るのは橋爪さん「ノーモアヒロシマ ノーモアナガサキ、ノーモアヒバクシャ」とシュプレヒコールのコールの声をあげ、参加者がこれに続きます。5月20日は、紀美野町の平和行進です。 県原水協事務局